A シリーズ計算機リンク ドライバ

1	システム構成	3
2	接続機器の選択	7
3	通信設定例	8
4	設定項目	24
5	結線図	29
6	使用可能デバイス	35
7	デバイスコードとアドレスコード	
8	エラーメッセージ	

はじめに

本書は表示器と接続機器(対象 PLC)を接続する方法について説明します。 本書では接続方法を以下の順に説明します。



システム構成

1

三菱電機(株)製接続機器と表示器を接続する場合のシステム構成を示します。

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
	A2ACPU A2ACPU-S1 A3ACPU	AJ71C24-S6 AJ71C24-S8	RS232C	設定例 1 (8 ページ)	結線図 1 (29 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 5 (16 ページ)	結線図 2 (30 ページ)
MELSEC	A2UCPU-S1 A3UCPU	ICPU ICPU-S1 ICPU	RS232C	設定例 2 (10 ページ)	結線図 1 (29 ページ)
Series	A4UCPU	AJ/10C24	RS422/485 (4 線式)	設定例 6 (18 ページ)	結線図 2 (30 ページ)
	A2USCPU	A1SJ71C24-R2 A1SJ71UC24-R2	RS232C	設定例 3 (12 ページ)	結線図 3 (34 ページ)
	A2USHCPU-S1	A1SJ71C24-R4 A1SJ71UC24-R4	RS422/485 (4 線式)	設定例 7 (20 ページ)	結線図 2 (30 ページ)
MELSEC AnN Series		AJ71C24 AJ71C24-S3	RS232C	設定例 1 (8 ページ)	結線図 1 (29 ページ)
	A1NCPU A2NCPU A2NCPU-S1 A3NCPU	AJ71C24-S6 AJ71C24-S8	RS422/485 (4 線式)	設定例 5 (16 ページ)	結線図 2 (30 ページ)
		AJ71UC24	RS232C	設定例 2 (10 ページ)	結線図 1 (29 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 6 (18 ページ)	結線図 2 (30 ページ)
	A1SCPU A1SJCPU A1SJHCPU A1SHCPU A2SHCPU	A1SJ71C24-R2 A1SJ71UC24-R2	RS232C	設定例 3 (12 ページ)	結線図 3 (34 ページ)
		A1SJ71C24-R4 A1SJ71UC24-R4	RS422/485 (4 線式)	設定例 7 (20 ページ)	結線図 2 (30 ページ)
	A0J2CPU A0J2HCPU	A0J2-C214-S1	RS422/485 (4 線式)	設定例 8 (22 ページ)	結線図 2 (30 ページ)
	A2CCPUC24	CPU 上の リンクポート	RS232C	設定例 4 (14 ページ)	結線図 3 (34 ページ)
MELSEC	Q2ACPU Q2ACPU-S1 Q3ACPU Q4ACPU Q4ARCPU	U U-S1 U AJ71UC24 U PU	RS232C	設定例 2 (10 ページ)	結線図 1 (29 ページ)
			RS422/485 (4 線式)	設定例 6 (18 ページ)	結線図 2 (30 ページ)
Series	Q2ASCPU Q2ASCPU-S1	A1SJ71UC24-R2 A1SJ71UC24-PRF	RS232C	設定例 3 (12 ページ)	結線図 3 (34 ページ)
	Q2ASHCPU Q2ASHCPU-S1	A1SJ71UC24-R4	RS422/485 (4 線式)	設定例 7 (20 ページ)	結線図 2 (30ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
MELSEC Q Series	Q02CPU-A	A1SJ71UC24-R2 A1SJ71UC24-PRF	RS232C	設定例 3 (12 ページ)	結線図 3 (34 ページ)
	Q06HCPU-A Q06HCPU-A	A1SJ71UC24-R4	RS422/485 (4 線式)	設定例 7 (20 ページ)	結線図 2 (30 ページ)

■ 接続構成

1:1 接続



• 1:n 接続



• 1:n 接続(ネットワークを経由する場合)

MELSECNET/10、MELSECNET (II)、MELSECNET/B を経由した他局へのアクセスが可能です。



■ IPC の COM ポートについて

接続機器と IPC を接続する場合、使用できる COM ポートはシリーズと通信方式によって異なります。 詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

使用可能ポート

S.11-7	使用可能ポート			
	RS-232C	RS-422/485(4 線式)	RS-422/485(2 線式)	
PS-2000B	COM1 ^{** 1} 、COM2、 COM3 ^{** 1} 、COM4	-	-	
PS-3450A、PS-3451A	COM1、COM2 ^{※1 ※ 2}	COM2 ^{**} 1 ^{**} 2	COM2 ^{**} 1 ^{**} 2	
PS-3650A、PS-3651A	COM1 ^{** 1}	-	-	
PS-3700A (Pentium®4-M) PS-3710A	COM1 ^{** 1} , COM2 ^{** 1} , COM3 ^{** 2} , COM4	COM3 ^{** 2}	COM3 ^{** 2}	
PS-3711A	COM1 ^{** 1} , COM2 ^{** 2}	COM2 ^{**} ²	COM2 ^{**} ²	
PL-3000B	COM1 ^{** 1 ** 2} 、 COM2 ^{** 1} 、COM3、 COM4	COM1 ^{**} 1 ^{**} 2	COM1 ^{**} 1 ^{**} 2	

※1 RI/5V を切替えることができます。IPC の切替えスイッチで切替えてください。

※2 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。使用する通信方式に合わせて、 以下のように設定してください。

ディップスイッチの設定:RS-232C

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	OFF	通信卡式 · BS 222C	
3	OFF	地向方式,K3-232C	
4	OFF	SD(TXD) の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB)と RDB(RXB)の短絡:しない	
9	OFF	DC(DTC) 白動判御エード, 毎為	
10	OFF	K5(K15) 日期前御モート:無刻	

ディップスイッチの設定:RS-422/485(4 線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	通信卡式·BS 422/485	
3	ON	通信刀式 KS-422/485	
4	OFF	SD(TXD) の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:しない	
8	OFF	SDB(TXB)と RDB(RXB)の短絡:しない	
9	OFF	DC/DTC) 白動則御エード, 毎為	
10	OFF	K5(K15) 日動制御モート:無刻	

ディップスイッチの設定:RS-422/485(2線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容	
1	OFF	予約(常時 OFF)	
2	ON	通信卡式·BS 422/485	
3	ON	地向万式、KS-422/405	
4	OFF	SD(TXD) の出力モード:常に出力	
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω):なし	
7	ON	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡:する	
8	ON	SDB(TXB)と RDB(RXB)の短絡:する	
9	ON	BS(DTS) 白動判御エード・方効	
10	ON	K3(K13) 日動前御モート: 有効	

2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。

ð	ブロジェクト	>ファイルの新規作成	×
	接続機器		
	メーカー	三菱電機(株) ▼	
	シリーズ	A シリーズ 計算機リンク ▼	
	🗆 システ	ムエリアを使用する この接続機器のマニュアルを見る	
	- 接続方法		
	ポート	COM1	
		戻る 通信の詳細設定 画面作成 ディンセル	

設定項目	設定内容
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「三菱電機(株)」を選択します。
シリーズ	接続する接続機器の機種(シリーズ)と接続方法を選択します。「A シリーズ計 算機リンク」を選択します。 「A シリーズ計算機リンク」で接続できる接続機器はシステム構成で確認してく ださい。 プ「1 システム構成」(3 ページ)
システムエリアを使用 する	表示器のシステムデータエリアと接続機器のデバイス(メモリ)を同期させる場合にチェックします。同期させた場合、接続機器のラダープログラムで表示器の 表示を切り替えたりウィンドウを表示させることができます。 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア(ダイレクトア クセス方式専用)」 この設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードでも設定できます。 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「5.14.6[システム設定ウィンドウ] の設定ガイド■[本体設定]の設定ガイド◆システムエリア設定」 参照:保守/トラブル解決ガイド「2.14.1 表示器共通」■[本体設定]の設定ガ ィド◆システムエリア設定
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。

3 通信設定例

(株) デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

A シリーズを使用する場合は GP-ProEX およびラダーソフトで以下のように設定します。

3.1 設定例 1

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1			
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
メーカー 三菱電機	裴(株)	シリーズ A シリーズ 計算機リンク ポート COM1	
文字列データモー	* 2 変更		
通信設定			
通信方式	RS232C	◎ RS422/485(2線式) ◎ RS422/485(4線式)	
通信速度	19200	•	
データ長	• 7	0.8	
パリティ	○ なし	 ● 偶数 ○ 奇数 	
ストップビット	01	• 2	
フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイムアウト	3 🗄 ((sec)	
リトライ	2 🔅		
送信ウェイト	P 🗄 ((ms)	
RI / VCC	⊙ RI	O VCC	
RS232Cの場合、 にするかを選択で	9番ピンをRI(入力)に できます。デジタル製R	こするかVCC6V電源供給) S222Cアイソルージョンコニッ	
トを使用する場合	含は、VCCを選択して	べださい。 初期設定	
機器別設定			
接続可能台数 1	6台 🚮	=	
No. 機器名		設定 局番号=0.PC番号=255	
do 1. == .			

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🎆 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から **1** をクリックすること で、接続機器を増やすことができます。

🖋 個別機器設定		×
PLC1		
局番号	p	÷
PC番号	255	
	初期設定	
OK(<u>O</u>)	(キャンセル	

計算機リンクユニットのディップスイッチにより設定を行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照ください。

◆モード設定ロータリスイッチ

設定	設定内容
4	形式4のプロトコルモード

◆ 通信設定ディップスイッチ

ディップ スイッチ	設定	設定内容
SW11	OFF	主チャンネル設定
SW12	OFF	データビット設定
SW13	OFF	
SW14	ON	伝送速度設定
SW15	ON	
SW16	ON	パリティビットの有無設定
SW17	ON	偶数パリティ / 奇数パリティの設定
SW18	ON	ストップビット設定
SW21	ON	サムチェックの有無設定
SW22	ON	RUN 中書込み可・否設定
SW23	OFF	送信側終端抵抗有無設定
SW24	OFF	受信側終端抵抗有無設定

◆ 局番設定ロータリスイッチ

ロータリ スイッチ	設定	設定内容
X10	0	日本計中
X1	0	<i>同</i>

3.2 設定例 2

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1					
概要				接続機器変更	
メーカー 三菱電	電機(株)	シリーズ A シリー	ズ 計算機リンク	ポート COM1	
文字列データモ	ード 2 <u>変更</u>				
通信設定					
通信方式	RS232C	C RS422/485(2線式)	○ RS422/485(4線式)		
通信速度	19200	T			
データ長	• 7	C 8			
パリティ	○ なし	● 偶数	〕奇数		
ストップビット	O 1	€ 2			
フロー制御	○ なし	• ER(DTR/CTS)	XON/XOFF		
タイムアウト	β 🚍	(sec)			
リトライ	2 🗄				
送信ウェイト	p 😑	(ms)			
RI / VCC	⊙ RI	C VCC			
RS232Cの場 にするかを遅れ	合、9番ピンをRI(入力)(Rできます、デジタル製用	こするかVCC(5V電源供給) 352320アイトルーションフェッ			
トを使用する	場合は、VCCを選択して	てください。	初期設定		
機器別設定					
接続可能台数	16台 🚮	=1,			
NO. 很甜: 【1 PLC1	ö		番号=255		
		Ref 1 to the state			

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から **1** をクリックすること で、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定		×
PLC1		
局番号	p	÷
PC番号	255	
	初期設定	
OK(<u>O</u>)	 **>D/	

計算機リンクユニットのディップスイッチにより設定を行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照ください。

◆モード設定ロータリスイッチ

設定	設定内容
4	形式4のプロトコルモード

◆ 通信設定ディップスイッチ

ディップ スイッチ	設定	設定内容
SW11	OFF	主チャンネル設定
SW12	OFF	データビット設定
SW13	OFF	
SW14	ON	伝送速度設定
SW15	ON	
SW16	ON	パリティビットの有無設定
SW17	ON	偶数パリティ / 奇数パリティの設定
SW18	ON	ストップビット設定
SW21	ON	サムチェックの有無設定
SW22	ON	RUN 中書込み可・否の設定
SW23	ON	計算機リンク/マルチドロップリンク選択
SW24	未使用	未使用

◆ 局番設定ロータリスイッチ

ロータリ スイッチ	設定	設定内容
X10	0	日本計中
X1	0	同

3.3 設定例 3

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器	\$1			
概要			<u>接続機器変更</u>	
×-	-カー 三菱電機(株	5)	シリーズ A シリーズ 計算機リンク ポート COM1	
文章	字列データモード 「	2 <u>変更</u>		
通信設定	定			
通	信方式	RS232C	○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
通	信速度	19200	Y	
デー	一々長	⊙ 7	C 8	
79	ティ	○ なし	 • 偶数 ○ 奇数 · · ·	
자	ヽップビット	01	@ 2	
70]一制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF	
タイ	(ፊዎウト	β 📑 (s	(sec)	
ህት	·51	2 🔅		
送	信ウェイト	0 🗄 6	(ms)	
RI	/ VCC	• RI	O VCC	
R C	RS232Cの場合、9番	キビンをRI(入力)に ます。デジタル製RS	こするかVCC6V電源供給) 152320アイリルーションフェッ	
ĥ	を使用する場合は、	、VCCを選択して	ていださい。	
機器別調	設定			
接續	続可能台数 16台	1	=1	
X	NO. 1浅荷名		appendix and a second	
機器別調 接紙	設定 続可能台数 16台 No. 機器名] 1 [PLC1			

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 📷 をクリックすること で、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
局番号	p 🗄
PC番号	255 🔅
	初期設定
OK(<u>O</u>)	*+>ZUI

計算機リンクユニットのディップスイッチにより設定を行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照ください。

◆モード設定ロータリスイッチ

設定	設定内容
4	形式4のプロトコルモード

◆ 通信設定ディップスイッチ

ディップ スイッチ	設定	設定内容
SW03	未使用	未使用
SW04	ON	RUN 中書込み可・不可設定
SW05	OFF	
SW06	ON	伝送速度設定
SW07	ON	
SW08	OFF	データビット設定
SW09	ON	パリティビットの有無
SW10	ON	偶数パリティ / 奇数パリティの設定
SW11	ON	ストップビットの設定
SW12	ON	サムチェックの有無設定

3.4 設定例 4

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1			
概要		<u>接続機器変更</u>	
メーカー 三菱電機(株)	I	シリーズ A シリーズ 計算機リンク ポート COM1	
文字列データモード 🔽	2 <u>変更</u>		
通信設定			
通信方式 (• RS232C (○ RS422/485(2線式) ○ RS422/485(4線式)	
通信速度	19200	T	
データ長(• 7 (€ 8	
パリティ (○ なし (○ 偶数 ○ 奇数	
ストップビット (01 (@ 2	
フロー制御 (○ なし (
タイムアウト	3 <u>:</u> (se	ec)	
UF54 🕴	2		
送信ウェイト	0 🔆 (ms	ns)	
RI / VCC (€RI (C VCC	
RS232Cの場合、9番と にするかを選択できます	ピンをRI(入力)にす す。デジタル制RS2	するかVCC(5V電源供給) 2320 Tx(ソルージョンコニッ	
トを使用する場合は、	VCCを選択してくた	ださい。 初期設定	
機器別設定			
接続可能台数 16台			
No. 機器名			
		□□□ /向曲方=0,P0曲方=200	

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 📷 をクリックすること で、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
局番号	p 🗄
PC番号	255 🔅
	初期設定
OK(<u>O</u>)	*+>ZUI

計算機リンクユニットのディップスイッチにより設定を行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照ください。

◆モード設定ロータリスイッチ

設定	設定内容
4	形式4のプロトコルモード

◆ 通信設定ディップスイッチ

ディップ スイッチ	設定	設定内容
SW11	OFF	
SW12	ON	伝送速度設定
SW13	ON	
SW14	ON	データビット設定
SW15	ON	パリティの有無設定
SW16	ON	偶数パリティ / 奇数パリティ設定
SW17	ON	ストップビット設定
SW18	ON	サムチェックの有無設定
SW19	ON	主チャンネル設定
SW20	OFF	RUN 中書込みの可 / 不可設定

◆ 局番設定ロータリスイッチ

ロータリ スイッチ	設定	設定内容
X10	0	日亚讯台
X1	0	同

3.5 設定例 5

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要				接続機器変更
メーカー 三菱電機(株)	シリーズ Aシ	リーズ 計算機リンク	ポート COM1
文字列データモード	2 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	C RS232C	C RS422/485(2線式	式) • RS422/485(4線式)	
通信速度	19200	•		
データ長	⊙ 7	C 8		
パリティ	○ なし	◉ 偶数	○ 奇数	
ストップビット	01	2		
フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF	
タイムアウト	3 <u>÷</u> (s	ec)		
リトライ	2 🗄			
送信ウェイト	p 🚊 (r	ns)		
RI / VCC	🕫 RI	C VGG		
RS232Cの場合、9番	ピンをRI(入力)に	するかVCC(5V電源供	給)	
トを使用する場合は、	9。 「VCCを選択して	っとっとし アイ クレーションコ ください。	初期設定	
機器別設定				
接続可能台数 16台	10			
No. 機器名			PC盘号=255	
I I I I I I I I I I I I I I I I I I I		10) # 4 -0,	, OB 9-200	

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から **1** をクリックすること で、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
局番号	p 🗄
PC番号	255 🔅
	初期設定
OK(<u>O</u>)	*+>ZUI

計算機リンクユニットのディップスイッチにより設定を行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照ください。

◆モード設定ロータリスイッチ

設定	設定内容
8	形式4のプロトコルモード

◆ 通信設定ディップスイッチ

ディップ スイッチ	設定	設定内容
SW11	ON	主チャンネル設定
SW12	OFF	データビット設定
SW13	OFF	
SW14	ON	伝送速度設定
SW15	ON	
SW16	ON	パリティビットの有無設定
SW17	ON	偶数パリティ / 奇数パリティの設定
SW18	ON	ストップビット設定
SW21	ON	サムチェックの有無設定
SW22	ON	RUN 中書込み可・否設定
SW23	ON	送信側終端抵抗有無設定
SW24	ON	受信側終端抵抗有無設定

◆ 局番設定ロータリスイッチ

ロータリ スイッチ	設定	設定内容	
X10	0	局番設定	
X1	0		

3.6 設定例 6

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1						
概要					接続機器変更	
メーカー 三菱電機(株)		シリーズ Aシリ	リーズ 計算機リンク		ポート COM1	
文字列データモード 2	<u>変更</u>					
通信設定						
通信方式 (C RS232C	○ RS422/485(2線式)	t) • RS422/48	85(4線式)		
通信速度	19200	•				
データ長 (• 7	0.8				
パリティ (こ なし	● 偶数	〇 奇数			
ストップビット 🤇	0 1	• 2				
フロー制御 (こ なし	ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF			
タイムアウト	3 📑 (se	ec)				
U1-5-7 🖡	2 🕂					
送信ウェイト 🛛	0 🕂 (m	s)				
RI / VCC	S RI	C V00				
RS232Cの場合、9番と にオスかち避視できます	としをRI(入力)にす	あかVCCのV電源供給	(合)			
トを使用する場合は、	yooを選択してく	ださい。		初期設定		
機器別設定						
接続可能台数 16台	tien .					
No. 機器名 「 」 1 PLC1			PC番号=255			
0 · 1 2 · 1			0 8 .) 200			

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬 をクリックすること で、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×
PLC1	
局番号	p 🗄
PC番号	255 🔅
	初期設定
OK(<u>O</u>)	*+>ZUI

計算機リンクユニットのディップスイッチにより設定を行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照ください。

◆モード設定ロータリスイッチ

設定	設定内容
8	形式4のプロトコルモード

◆ 通信設定ディップスイッチ

ディップ スイッチ	設定	設定内容
SW11	ON	主チャンネル設定
SW12	OFF	データビット設定
SW13	OFF	
SW14	ON	伝送速度設定
SW15	ON	
SW16	ON	パリティビットの有無設定
SW17	ON	偶数パリティ / 奇数パリティの設定
SW18	ON	ストップビット設定
SW21	ON	サムチェックの有無設定
SW22	ON	RUN 中書込み可・否の設定
SW23	ON	計算機リンク / マルチドロップリンク選択
SW24	未使用	未使用

◆ 局番設定ロータリスイッチ

ロータリ スイッチ	設定	設定内容
X10	0	日本計中
X1	0	同佾苡仁

3.7 設定例 7

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1				
概要		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u> 機器変更</u>	
メーカー 三菱電機	(株)	シリーズ A シリーズ計算機リンクポート COM1		
文字列データモード	2 <u>変更</u>			
通信設定				
通信方式	C RS232C	○ RS422/485(2線式) ● RS422/485(4線式)		
通信速度	19200	•		
データ長	• 7	C 8		
パリティ	○ なし	● 偶数 ○ 奇数		
ストップビット	01	• 2		
フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS) C XON/XOFF C SON/XOFF C SON/XOFF C SON/XOFF SON/XOFF SON		
タイムアウト	β 🚊 ((sec)		
リトライ	2 :			
送信ウェイト		(ms)		
RI / VCC	© RI	O VCC		
RS2320の場合、9番ピンをRI(人力)にするかVOC(5)で軍源供給)				
トを使用する場合	は、VCCを選択して	るとなどのパイクレージョンユニック てください。 初期設定		
機器別設定				
接続可能台数 16	8			
No. 機器名		設定 局番号=0.PC番号=255		
1				

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬 をクリックすること で、接続機器を増やすことができます。

💣 個別機器設定	×	(
PLC1		
局番号	p 🗄	I
PC番号	255 🚊	I
	初期設定	
OK(<u>O</u>)	¥7701	

計算機リンクユニットのディップスイッチにより設定を行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照ください。

◆モード設定ロータリスイッチ

設定	設定内容
8	形式4のプロトコルモード

◆ 通信設定ディップスイッチ

ディップ スイッチ	設定	設定内容
SW01	未使用	未使用
SW02	ON	計算機リンク/マルチドロップリンク選択
SW03	未使用	未使用
SW04	ON	RUN 中書込み可・不可設定
SW05	OFF	
SW06	ON	伝送速度設定
SW07	ON	
SW08	OFF	データビットの設定
SW09	ON	パリティビットの有無
SW10	ON	偶数パリティ / 奇数パリティの設定
SW11	ON	ストップビットの設定
SW12	ON	サムチェックの有無設定

◆ 局番設定ロータリスイッチ

ロータリ スイッチ	設定	設定内容
X10	0	日本計中
X1	0	同省议上

3.8 設定例 8

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択 します。

接続機器1						
概要					接続機器変更	
メーカー 三菱電機(株)		シリーズ Aシリ	リーズ 計算機リンク		ポート COM1	
文字列データモード 2	 <u>変更</u>					
通信設定						
通信方式 (C RS232C	○ RS422/485(2線式)	t) • RS422/48	85(4線式)		
通信速度	19200	•				
データ長 (• 7	0.8				
パリティ (こ なし	● 偶数	〇 奇数			
ストップビット 🤇	0 1	• 2				
フロー制御 (こ なし	ER(DTR/CTS)	C XON/XOFF			
タイムアウト	3 📑 (se	ec)				
U1-5-7 🛛	2 🕂					
送信ウェイト 🛛	0 🕂 (m	s)				
RI / VCC	S RI	C V00				
RS232Cの場合、9番ピンをRI(人力)にするかVOC(5)で軍源供給)						
トを使用する場合は、	yooを選択してく	ださい。		初期設定		
機器別設定						
接続可能台数 16台	tien .					
No. 機器名 「 」 1 PLC1			PC番号=255			
0 · 1 2 · 1			0 8 .) 200			

♦ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から 🏬 をクリックすること で、接続機器を増やすことができます。

💰 個別機器設定	×
PLC1	
局番号	p 🗄
PC番号	255 🔅
	初期設定
OK(<u>O</u>)	*+>ZUI

計算機リンクユニットのディップスイッチにより設定を行います。詳細は接続機器のマニュアルを参照ください。

◆モード設定ロータリスイッチ

設定	設定内容
8	形式4のプロトコルモード

◆ 通信設定ディップスイッチ

ディップ スイッチ	設定	設定内容	
SW10	ON	計算機リンク / マルチドロップリンク選択	
SW11	ON	主チャンネル設定	
SW12	ON	RUN 中書込み可・否設定	
SW13	OFF		
SW14	ON	伝送速度設定	
SW15	ON		
SW16	OFF	データビット設定	
SW17	ON	パリティの有無設定	
SW18	ON	偶数パリティ / 奇数パリティの設定	
SW19	ON	ストップビット設定	
SW20	ON	サムチェックの有無設定	

◆ 終端抵抗ディップスイッチ

ディップ スイッチ	設定	設定内容
SW21	OFF	未使用
SW22	任意	送信側終端抵抗
SW23	任意	受信側終端抵抗

◆ 局番設定ロータリスイッチ

ロータリ スイッチ	設定	設定内容
X10	0	已来凯宁
X1	0	同 街 政 上

4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。 各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。

🧊 「3 通信設定例」(8 ページ)

4.1 GP-ProEX での設定項目

■ 通信設定

設定画面を表示するには、ワークスペースの[システム設定ウィンドウ]から[接続機器設定]を選択します。

8続機器1			
既要			接続機器変更
メーカー 三菱電橋	展(株)	シリーズ A	シリーズ 計算機リンク ポート COM1
文字列データモー	۴ <u>2 🐲</u>		
動言設定			
通信方式	 RS232C 	C RS422/485(2制	泉式) C RS422/485(4線式)
通信速度	19200	•	
データ長	• 7	C 8	
パリティ	○ なし	● 偶数	○ 奇数
ストップビット	O 1	€ 2	
フロー制御	○ なし	ER(DTR/CTS)	O XON/XOFF
タイムアウト	β	(sec)	
リトライ	P 🗄	[
送信ウェイト	p 🚊	(ms)	
RI / VCC		C VCC	
RS232Cの場合。 にするかを選択	.9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源: RS232Cアイソルーション	(供給)
トを使用する場	合は、VCCを選択し	てください。	初期設定
熊器別設定			
接続可能台数 1	6台 🙀		
No. 機器名			=0 PC:弗号=255

設定項目	設定内容	
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。	
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。	
データ長	データ長を選択します。	
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。	
ストップビット	ストップビット長を選択します。	
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御方式を選択します。	
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1~127」で入力します。	
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~255」で入力します。 重要	
	 ・ネットワーク経由で通信する場合は、5秒以上に設定してください。 	
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します。	
RI/VCC	通信方式で RS232C を選択した場合に、9番ピンの RI/VCC を切り替えます。 IPC と接続する場合は IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要がありま す。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。	

■ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の 🌇 ([設定]) をクリックします。

複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から **1** をクリックすること で、接続機器を増やすことができます。



設定項目	設定内容
局番号	接続機器の号機番号を「0~31」で入力します。
PC 番号	ネットワーク経由で通信するときに設定します。通信する接続機器の PC 番号を 「0~64」で入力します。ネットワークを経由しない場合は「255」を入力しま す。

4.2 オフラインモードでの設定項目

МЕМО

 オフラインモードへの入り方や操作方法は、保守 / トラブル解決ガイドを参照して ください。

参照:保守/トラブル解決ガイド「2.2オフラインモードについて」

■ 通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチしま す。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
A シリーズ 計算	機リンク		[COM1]	Page 1/1
	通信方式 通信速度 データ長 パリティ ストップビット フロー制御	RS232C 19200 ● 7 ● なし ● 1 ER(DTR/C	◆ ● ● ② TS) ◆]]]]
	タイムアウト(s) リトライ 送信ウェイト(ms)			
	終了		戻る	2005/09/02 12:30:46

設定項目	設定内容				
	接続機器と通信する通信方式を選択します。				
通信方式	重要 通信設定を行う場合、[通信方式]は表示器のシリアルインターフェイスの仕様 を確認し、正しく設定してください。シリアルインターフェイスが対応していな い通信方式を選択した場合の動作は保証できません。シリアルインターフェイス の仕様については表示器のマニュアルを参照してください。				
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。				
データ長	データ長を選択します。				
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。				
ストップビット ストップビット長を選択します。					
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御方式を選択します。				
タイムアウト (s)	表示器が接続機器からの応答を待つ時間(s)を「1~127」で入力します。				
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0~255」で入力します。				
送信ウェイト (ms)	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms)を「0~255」で入力します				

■ 機器設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧 から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
A シリーズ 計算	機リンク		[COM1]	Page 1/1
接続機	器名 PL	01		_
	局番号 PC番号		Ø V A 255 V A]
	終了		戻る	2005/09/02 12:30:53

設定項目	設定内容
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の 名称です。(初期値 [PLC1])
局番号	接続機器の号機番号を「0~31」で入力します。
PC 番号	ネットワーク経由で通信するときに設定します。通信する接続機器の PC 番号を 「0~64」で入力します。ネットワークを経由しない場合は「255」を入力しま す。

■ オプション

設定画面を表示するには、[周辺機器設定]から[接続機器設定]をタッチします。表示された一覧 から設定したい接続機器をタッチし、[オプション]をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
通信設定 A シリーズ 計算	機器設定 機リンク RI / VCC RS232Cの場合 かVCC(5V電) す。デジタリ ユニットを住 てください。	 ・ RI ・ 9番ピンをRI(万 京供給)にするかを レ製RS2320アイソロ 吏用する場合は、V 	[COM1] [COM1] (CC く力)にする 選択できま ノーション (CCを選択し	Page 1/1
	終了		戻る	2005/09/02 12:30:55

設定項目	設定内容
RI/VCC	通信方式でRS232Cを選択した場合に、9番ピンのRI/VCCを切り替えます。 IPCと接続する場合はIPCの切替スイッチでRI/5Vを切り替える必要がありま す。詳細はIPCのマニュアルを参照してください。

5 結線図

以下に示す結線図と三菱電機(株)の推奨する結線図が異なる場合がありますが、本書に示す結線図 でも動作上問題ありません。

- 接続機器本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は接続機器のマニュアルを参照して ください。
- 表示器内部で SG と FG は接続されています。接続機器と SG を接続する場合は短絡ループが形成 されないようにシステムを設計してください。
- ノイズなどの影響で通信が安定しない場合はアイソレーションユニットを接続してください。

結線図 1

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP (COM1) ST (COM1) IPC ^{* 1} PC/AT	A	(株)デジタル製 RS232C ケーブル CA3-CBL232/5M-01(5m)	
	В	自作ケーブル	ケーブル長は最大 15m 以内にし てください。

A) (株) デジタル製 RS232C ケーブル (CA3-CBL232/5M-01) を使用する場合



B) 自作ケーブルを使用する場合

[D-sub 9ピン	シ(ソケット)	接続機器側 D-sub 25 b	则 ピン(プラグ)
	ピンNo.	信号名	シールド /7	ピンNo.	信号名
+ - m	2	RD(RXD)	◄ / / /	2	SD(TXD)
表示器	3	SD(TXD)		3	RD(RXD)
	4	ER(DTR)		6	DSR(DR)
	5	SG		7	SG
	7	RS(RTS)	──	8	CD
	8	CS(CTS)		20	DTR(ER)
			``\\\;	5	CS(CTS)
			\¥[1	FG

結線図 2



- 接続機器側のユニットの SDA-SDB 間と RDA-RDB 間に 330Ω1/4W の終端抵抗が必要です。
- ユニットに終端抵抗スイッチが付いている場合は、スイッチを ON にすることに よって終端抵抗を負荷することができます。詳しくは接続機器のマニュアルを参照 してください。

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP ^{* 1} (COM1) AGP-3302B (COM2) ST ^{* 2} (COM2) IPC ^{* 3}	А	 (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01	
	В	自作ケーブル	
GP ^{× 4} (COM2)	С	 (株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01	ケーブル長は最大 500m 以内にしてください。
	D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	

※1 AGP-3302B 除く全 GP 機種

※2 AST-3211A 除く全 ST 機種

※4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP 機種

- A) (株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ (CA3-ADPCOM-01)、(株) デジタル製コネクタ端子 台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01)、および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



- B) 自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



- C)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)、株)デジタル製コネクタ端子台変換ア ダプタ(CA3-ADPTRM-01)、および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



1:n 接続の場合



- D)(株)デジタル製オンラインアダプタ(CA4-ADPONL-01)および自作ケーブルを使用する場合
- 1:1 接続の場合



• 1:n 接続の場合



 MEMO
 ・ 伝送ケーブルは耐ノイズ性向上のために、ツイストペアー括シールドケーブルを使用し、シールド線を必ず接地してください。

結線図3

表示器 (接続ポート)		ケーブル	備考
GP (COM1) ST (COM1)	A	(株)デジタル製 三菱 Q リンクケーブル CA3-CBLLNKMQ-01(5m)	
IPC ^{× 1} PC/AT	В	自作ケーブル	ケーブル長は 15m 以内にし てください。

A) (株) デジタル製三菱Q リンクケーブル (CA3-CBLLNKMQ-01) を使用する場合



B) 自作ケーブルを使用する場合



6 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。ただし、実際にサポートされるデバイスの範囲は接続機器によって異なりますので、ご使用の接続機器のマニュアルで確認してください。

6.1 MELSEC AnA シリーズ、Q シリーズ A モード

____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
入力	X00000-X01FFF (X007FF ^{※ 1})	X00000-X01FF0 (X007F0 ^{** 1})		<u>***</u> 0]
出力	Y00000-Y01FFF (Y007FF ^{** 1})	Y00000-Y01FF0 (Y007F0 ^{** 1})		<u>***</u> 0]
内部リレー	M0000-M8191	M0000-M8176		<u>+ 16</u>]
ラッチリレー	L000000-L008191	L000000-L008176		<u>+ 16</u>]
ステップリレー	S000000-S008191	S000000-S008176		<u> </u>
リンクリレー	B00000-B01FFF (B00FFF ^{※ 1})	B00000-B01FF0 (B00FF0 ^{× 1})		<u>***</u> 0]
アナンシェータ	F000000-F002047	F000000-F002032		÷16)
特殊リレー	M9000-M9255	M9000-M9240		÷16)
タイマ(接点)	TS00000-TS02047			
タイマ(コイル)	TC00000-TC02047		[L/H]	
カウンタ(接点)	CS00000-CS01023			
カウンタ(コイル)	CC00000-CC01023			
タイマ(現在値)		TN00000-TN02047		
カウンタ(現在値)		CN00000-CN01023		
データレジスタ		D00000-D08191 (D06143 ^{** 1})		
リンクレジスタ		W0000-W1FFF	4	(Bit F)
ファイルレジスタ		R00000-R08191		B i 15
拡張ファイルレジスタ		0R0000 - 0R8191 : 64R0000 - 64R8191		<u>⊪⊤15</u>)
特殊レジスタ ^{※2}		D09000-D09255		_{ві t} 15

※1 AJ71UC24、A1SJ71UC24-R2/R4/PRF 以外の計算機リンクユニットで指定できる最大デバイス番号を示します。

※2 読み出し専用、書き込み専用、システム用に分かれています。書き込み可能範囲外に書き込みを行 うと、接続機器の CPU エラーが起こることがあります。 мемо

- システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
 - 参照:GP-ProEX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア(ダイレクトアクセス 方式専用)」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

^{③予}「表記のルール」

6.2 MELSEC AnN シリーズ

□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
入力	X00000 - X007FF	X00000 - X007F0		<u>***</u> 0]
出力	Y00000 - Y007FF	Y00000 - Y007F0		***0]
内部リレー	M0000 - M2047	M0000 - M2032		÷16)
ラッチリレー	L000000 - L002047	L000000 - L002032		÷16)
ステップリレー	S000000 - S002047	S000000 - S002032		÷16)
リンクリレー	B00000 - B003FF	B00000 - B003F0		***0]
アナンシェータ	F000000 - F000255	F000000 - F000240		÷16)
特殊リレー	M9000 - M9255	M9000 - M9240		÷16)
タイマ(接点)	TS00000 - TS00255			
タイマ(コイル)	TC00000 - TC00255			
カウンタ(接点)	CS00000 - CS00255			
カウンタ(コイル)	CC00000 - CC00255			
タイマ(現在値)		TN00000 - TN00255		
カウンタ(現在値)		CN00000 - CN00255		
データレジスタ		D00000 - D01023		_{в і 1} 5
リンクレジスタ		W0000 - W03FF	ſ	(Bit F)
ファイルレジスタ		R00000 - R08191		B i t 15]
拡張ファイルレジスタ		0R0000 - 0R8191 : 28R0000 - 28R8191		B i 15
特殊レジスタ ※1		D09000 - D09255		<u>⊪⊤</u> 15)

※1 読み出し専用、書き込み専用、システム用に分かれています。書き込み可能範囲外に書き込みを行 うと、接続機器の CPU エラーが起こることがあります。 MEMO

- システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。
 - 参照:GP-Pro EX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア(ダイレクトアクセス 方式専用)」
- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

6.3 MELSEC QnA シリーズ

_____ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
入力リレー	X0000 - X1FFF	X0000 - X1FF0		<u>***</u> 0]
出カリレー	Y0000 - Y1FFF	Y0000 - Y1FF0		<u>***</u> 0]
内部リレー	M0000 - M8191	M0000 - M8176		÷16)
特殊リレー	M9000 - M9255 (SM1000 - SM1255)	M9000 - M9240 (SM1000 - SM1240)		<u> </u>
アナンシェータ	F00000 - F02047	F00000 - F02047		÷16)
リンクリレー	B00000 - B01FFF	B00000 - B01FF0		<u>***</u> 0]
タイマ(接点)	TS00000 - TS02047			
タイマ(コイル)	TC00000 - TC02047		[L / H]	
カウンタ(接点)	CS00000 - CS01023			
カウンタ(コイル)	CC00000 - CC01023			
タイマ(現在値)		TN00000 - TN02047		
カウンタ(現在値)		CN00000 - CN01023	ļ	
データレジスタ		D000000 - D008191		Bit F
特殊レジスタ		D009000 - D009255 (SD1000 - SD1255)		
リンクレジスタ		W0000 - W1FFF		B i t F

MEMO

 システムデータエリアについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してく ださい。

参照 : GP-ProEX リファレンスマニュアル「付録 1.4LS エリア(ダイレクトアクセス 方式専用)」

• 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

「塗」「表記のルール」

7 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードはデータ表示器などのアドレスタイプで「デバイスタイプ&アドレス」を設定している場合に使用します。

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード	
入力	Х	0080	ワードアドレス÷0x10の値	
出力	Y	0081	ワードアドレス÷0x10の値	
内部リレー	M (0000 - 8991)	0082	ワードアドレス÷16の値	
特殊リレー	M (9000 - 9991)	0083	(ワードアドレス -9000)÷ 16 の値	
ラッチリレー	L	0084	ワードアドレス÷16の値	
ステップリレー	S	0087	ワードアドレス÷16の値	
リンクリレー	В	0088	ワードアドレス÷0x10の値	
アナンシェータ	F	0085	ワードアドレス÷16の値	
タイマ(現在値)	TN	0060	ワードアドレス	
カウンタ(現在値)	CN	0061	ワードアドレス	
データレジスタ 特殊レジスタ	D	0000	ワードアドレス	
リンクレジスタ	W	0002	ワードアドレス	
ファイルレジスタ	R	000F	ワードアドレス	
	0R	0010	ワードアドレス	
	:	:	:	
拡張ファイルレジスタ	31R	002F	ワードアドレス	
	:	:	:	
	64R	0050	ワードアドレス	

8 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のように表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容
番号	エラー番号
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の名称です。(初期値 [PLC1])
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。
エラー発生箇所	エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。
	MEMO ・ IP アドレスけ「IP アドレス (10 進巻)・MAC アドレス (16 進巻)」のように表示
	 されます。 デバイスアドレスは「アドレス:デバイスアドレス」のように表示されます。 受信エラーコードは「10進数[16進数]」のように表示されます。

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1: 書込み要求でエラー応答を受信しました (受信エラーコード: 2[02])」

MEMO	 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。
	• ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守/トラブル解決ガイド」の「エ
	ラーが表示されたら(エラーコード一覧)」を参照してください。